



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113  
〒496-0036  
代表TEL：(0567)26-3921  
FAX：(0567)26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

**突然の、困った時こそお手伝い！ 家政婦さんの有効利用法 / つしま紹介所**

急に人の手助けが必要になった時(大掃除や留守番の家事や介護サービス)

介護保険では頼めないことを助けて欲しい

短時間や週1回、月1回又は夜間のみの手助けが必要

入院して病院から家族付き添いを求められたが、都合が付けられない時 等

介護保険が一般的になった現在、『家政婦さんの制度ってまだありますか??』という問い合わせも少なくありません。とっても簡単な申し込み手続きや利用契約で、個々の事情に合った家政婦さんの利用方法を一緒に考え、実際のお手伝いを得ることが可能です。

利用料金や仕事内容の相談など気軽にご相談下さい。専用電話番号:0567-26-1281 <Y・I>



**回想法 / ナイス・デイ**

最近少しずつ口数が少なくなってしまった認知症のKさん。介助を受けてお風呂から出てきたと思ったら、「十は東京博覧会 だわ!」と突然言った。一番はじめは一の宮～ 二は日光東照宮～ 誰もが知っているわらべうた...

Kさんの入浴中にレクでお手玉片手に歌っていたのだ。十になった時に意見が分かれていた。

『えっ!今、何て言った?』と思わず聞き直してしまふほど色々出てくる。ある人は“十は東京明治神宮”、ある人は“十は東京二重橋”

Kさんの言葉には『へえ～ッ!!何喋っとるか分かったかあ～』と皆ビックリ。それに答えてくれたことに二重のビックリ!!Iさんは「姉がいつもこうやって歌っていたから、自然と私も覚えてしまっ...」と。皆があまりにも鮮明に覚えていたことに本当に驚かされた。比較的守られている長期記憶。昔懐かしい思い出を刺激し、当時の感情そのものを想起させ、心温まる時間を過ごせたことに喜びを感じるひと時がある。 <M・O>

**のんびりと... / 愛宕の家**

朝8:00、愛宕の家に訪問サービスの担当者が「おはよ～」と入ってくる。朝食後の、のんびりした空間に元気な声加わり、一日の流れが始まる。



8:30、日勤スタッフは宿直者から申送りを受け、それぞれの人に挨拶に行く。スタッフは個人の好みや性分に合わせ、体調に配慮しながら意図的に日常を見守るのだ。一人ひとりの1日の過ごし方は違う。デイサービスへ出かける人、日に何度かの訪問サービスを利用する人、一定の曜日だけ訪問サービスを利用し後は気ままに過ごす人。スタッフは皆が快適に過ごせているか、声をかけ、見守りながら過ごす。また、時間でテキパキ動く訪問サービス担当者には家族として声掛けをする。「生活リハビリ」を心がけた働きかけが重要。「ここは穏やかな時間が流れているねえ。何だかホッとするわ」と家族の方に言われたことがある。当たり前前の雰囲気だが、そう感じ取ってもらえて嬉しい。 <H・O>

**6月の利用状況**

ナイス・ケア(定員特になし)・・・新規サービス大歓迎

愛宕の家(定員10名)・・・入居者 9名

ナイス・ホーム(定員17名)・・・登録者17名満員御礼

ナイス・デイ(定員10名)(数字は定期のご利用者数)

日	月	火	水	木	金	土
5	6	6	9	8	8	7

満員 / 募集中 お気軽にお問い合わせ下さい

**生活の変化 / ナイス・ホーム**

少し前、体調を崩されたSさんは、しばらく泊りを利用していました。少し安定して自宅へ戻られてからは、通常の通い利用に切り替え。しかし、日中は畳コーナーで布団を敷き、寝ている時間が多く、スタッフは「まだ体調が悪いのかな」と、そっと見守り。

数日後、通いの日に「今日は行かん、家におる」と言われた時、何気ない会話の中に『そっちに行ってもよお～何にもやることがないで寝とるんだわ～。家で寝とって一緒にだだよお～。』と……。

ありゃりゃ??????

と言うことは……、体調が悪いから横になりたいのだからと思っていたのはスタッフだけ。Sさんとしては、何の誘いもなく仕方なしに寝とったあ～? ? ?じっくり話を聞くと、『そっち(通い)で何かしたいわけではないよ。家で一人おるのも寂しいわ……。でも、それでも家でゆっくりしたい時もあるよお。』 ごめんなさい、ちゃんと関わっていませんでした。今の気持ちを大切に出来るように利用のペースを考え直そう!家族も一緒に考えた。しばらく、ホーム泊まり 時々自宅 に変えてみた。 <Y・O>

**実体験! 楽しく学ぶ / ナイス・キッズ**

5月19日から隔週で科学教室を開催しています。1クール目は「水と空気の実験」

長年小学校で教師として教えてみえたメガネのよしこ先生。縁あってボランティア参加です。子ども達は先生と水槽に興味津々!

水を触りたくて、われ先に水槽に手を伸ばす。その瞬間、間髪入れず、よしこ先生の「ちょっと待ったあ～、はい、正座して背すじを伸ばさす!」の一声。一瞬にして空気がピリッとする。

(あの子ども達が背すじを伸ばす姿が笑える)子どもとの関わりはお手の物(?)よしこ先生の“子どもを引きつける魅力“に感動しながら、

いつもと違う子供たちの様子に私は釘付になっていた。6月、夏の宴で披露する和太鼓の練習を始めよう。 <R・W>



**5年間 / ナイス・ケア**

Kさんのお宅で煮物を作りました。「ちょっと濃かったなあ」「そうでしたか……。すいません、気を付けます。」

どのお宅でも調理は難関。その日の体調により味が濃いか薄いか異なることもある。でも、今回は意味が違う!Kさんが「味が濃かった」と言ってくれたのだ。「やったあ～」と思った。Kさんは几帳面で寡黙な人。奥様の介護をしながら家事全般をこなし、自分にも他人にも厳しい方。今だからこそ、私個人の見方を暴露しよう。“訪問介護事業所や担当者を次々と変えてきたツワモノ……”だった方なのだ。

半年～1年に一度、ケアマネさんや責任者を通じ「味が薄かった。片付けてなかった。ヘルパーはプロだろう」と耳に入る。(その場で直接伝えてくれたらいいのに……)そう思っても、私の先入観もあり、なかなか歩み寄ることが出来なかったのも事実。こちらにも責任はある。だからこそ、「やっと言ってもらえた。」なのである。訪問し始めて5年。私の先入観も見直しが必要だと思っていた矢先のことだった。率直な感情のやり取りができるのが嬉しい。今度は「美味かった」と聞けるよう努力したいって思うんです。 <A・M>



**成長と老化 ～よだれ全開の息子 唾液歯磨き中!～ / 看護師コーナー**

息子はあっという間に9ヶ月。ハイハイはどんどんスピードアップ。よく動くから食欲も増して、今までにないお米の減りよう。よだれが滝のように溢れ出していて、そこに鼻水も混じり、大変なことになっている。最近、上の歯も顔を出し始めた。いつから歯磨きをはじめののだろうか?と疑問に思っていた。歯茎を触る感覚(仕上げ磨き)に慣れさせるためにも歯が生えていない時から指で歯茎のマッサージをしている。歯が生えてきた今、これがいつから虫歯になる危険が出てくるの?毎食、ブラッシング??そんな時に、こんな記事を見つけたので紹介したい。

「唾液には殺菌成分も含まれているが、年を取ると食べたり、飲んだりしていないときの唾液の量が減り、口の中を洗い流す機能があまり働かなくなる。お年寄りが水や食べ物をうまく飲み下せないと、誤って食べ物と一緒に細菌も肺に入ってしまう、誤嚥性肺炎になる危険性が高い。食べる時だけではなく、寝ている間に、唾液を誤嚥することも、唾液はのどを伝って気管に入っても、体温に近い温度のため刺激が少なく、むせずに肺に入ってしまうからだ。食べ物のかすは食後、数分で歯垢に変わる。歯磨きや入れ歯の洗浄ができれば食後すぐがいい。48時間以上たつと唾液中のカルシウムと結びついて歯垢になり、簡単に落ちなくなる。誤嚥性肺炎の予防には寝る前が特に重要で、ブラッシングし、口をすすぐだけでよい。ただし、飲み下す力が弱い場合、うがいは要注意。口腔ケア用のティッシュで軽くぬぐってもよい」



息子のよだれの量には意味がある。しまりが悪いわけではなく、この大量の唾液で殺菌していて、今すぐに嫌がるのを抑えて、歯磨きをしないでいいと受け止めた。やっぱり、なんにでも理由はあり、それが分かると非常に気分が良いものだ。よだれでベトベトは、息子の歯磨き!!家ではよだれがあふれ出す息子。愛宕の家では唾液が足りなくて、口腔ケアをしないとカピカピになってしまう入居者さん。成長と老化を日々、肌で感じている。 <M・T>

**編集後記**

おっちょこちょいの私は失敗が多い。焦ってじたばたして、深みにはまることもある。要らぬことを言う割に、大事な言葉が抜けてしまう。先日も自分の考えの甘さを反省しながら「はあ……」とため息。近くにいた利用者さんが「私の年まであと50年以上?まだまだだねえ。頑張りなにかんよ」と励ましてくれた。その笑顔を見ていたらちょっとの失敗で凹んではいけないうん、ヘコタレナイ。 <A・M>

